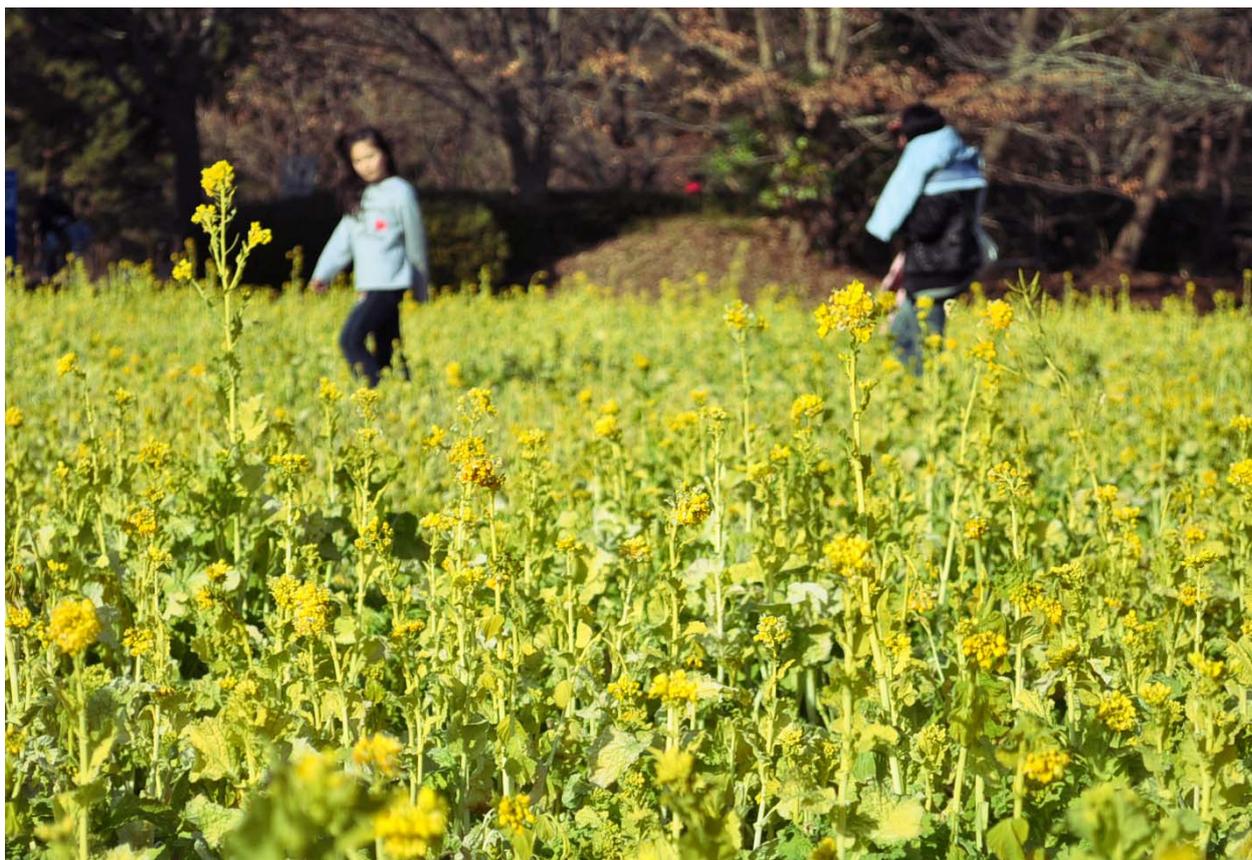


寒さの中にも春の前ぶれ

ふしみかんざき
早咲きのナノハナ「伏見寒咲」
5分咲きです!

冬～早春
の花暦
ご案内



泉の広場フラワーガーデン 2012年1月8日撮影

ひたち海浜公園では、早咲きのナノハナ「^{ふしみかんざき}伏見寒咲」が5分咲きになりました。伏見寒咲は寒さに強く厳寒期にも花を咲かせるため、3年前から植栽を開始しました。今年は新たに「吉野の春」・「最上の春」・「信濃の春」というそれぞれ開花時期が異なる3品種のナノハナを加え、見頃が長く続くように試みました。テラスハウス前ではその3品種を、スイセンの丘では伏見寒咲を含む全4品種がお楽しみいただけます。

暦の上では、これから大寒を迎える寒さの厳しい時期ですが、寒さに耐え健気に花を咲かせるナノハナは、一足早い春を感じさせてくれます。そのほか、冬から早春にかけての花々と併せてご案内いたします。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

春を代表する黄色い絨毯

ナノハナ アブラナ科一年草 原産地:南ヨーロッパ

アブラナ科の一年草で、原産地は南ヨーロッパです。花が咲いた後、中に1mm程の無数の種が入った細長い莢状の実を付けます。種は油分が多く、種を絞ると菜種油(なたねあぶら)が採れます。また、「菜の花」という名は“野菜の花”という意味から名付けられ、ほろ苦さと独特の香りがあり、サラダやあえ物などの食用になります。ナノハナの中でも花の部分を觀賞したり、食用とするものを「ハナナ」と呼びます。

ひたち海浜公園のナノハナ

5か所のナノハナ畑でそれぞれ違った趣をお楽しみいただけます。今年は以前から植えていた耐寒性が強く、厳寒期に咲く品種「伏見寒咲」に、「吉野の春」、「最上の春」、「信濃の春」の3つの品種を加えました。泉の広場フラワーガーデン、スイセンの丘、テラスハウス前でご覧になれます。

■泉の広場フラワーガーデン(開花:12月下旬~2月上旬)

一番早く開花しており、静かな南口エリアでゆっくりとひと足早い春を感じていただけます。

品種：伏見寒咲(ふしみかんざき)

面積：約900㎡

本数：67,500本

■スイセンの丘(開花:1月下旬~4月上旬)

4種類の早咲き品種を植えています。小高い丘が黄色に包まれた景色は心を和ませます。

品種：伏見寒咲、吉野の春、最上の春、信濃の春

面積：約1,800㎡

本数：82,000本

◆テラスハウス前(開花:1月下旬~3月上旬)

今年新たに加えた3種類の品種を植えています。それぞれの違いを見比べてみてください。

品種：吉野の春、最上の春、信濃の春

面積：約400㎡

本数：18,000本

■みはらしの里(開花:4月中旬~5月中旬)

江戸時代に建てられた古民家を背景に広がる菜の花畑は、昔懐かしい里の風景を再現しています。

品種：アブラナ

面積：約3,100㎡

本数：250,000本

■大草原フラワーガーデン(開花:3月下旬~4月下旬)

草丈60~80cm程の高さに咲き揃った黄色い絨毯は、サイクリングをしながらご覧いただくのがおススメです。

品種：アブラナ

面積：約6,000㎡

本数：500,000本



泉の広場フラワーガーデン 2011年1月4日撮影



スイセンの丘 2011年4月1日撮影



テラスハウス前 2011年1月23日撮影



みはらしの里 2011年5月8日撮影



大草原フラワーガーデン 2011年5月8日撮影

ひたち海浜公園 花ごよみ 《冬～早春》

四季の中でも冬の寒い時期は、植物にとって最も厳しい生育環境になりますが、この時期を選んで咲く花があります。寒空のもと、健気に咲かせる小さな花が、色の少ない冬の園内に彩りを添えてくれます。そして暖かくなるにつれ徐々に色数が増えていき、春の訪れを感じさせます。そんな冬から早春にかけて園内で見られる花をご紹介します。

◇ロウバイ(開花:12月中旬～1月下旬)約30本

「みはらしの里」の入口でロウバイの花が咲いています。ロウバイとは、ロウバイ科ロウバイ属の落葉低木で、12月～1月にかけて黄色い花を咲かせます。近くによると甘い香りがしますので、香りも一緒にお楽しみください。



ロウバイ



ツワブキの綿毛

◇ツワブキの綿毛(開花:12月下旬～1月中旬)約4600本

「バーベキューサークル」付近などでツワブキの綿毛が来ています。ツワブキとはキク科ツワブキ属の多年草で、10月下旬～11月中旬に黄色の花を咲かせます。花が咲いた後は、ふわふわとしたタンポポのような綿毛をつけます。



クリスマスローズ

◇クリスマスローズ(開花:1月中旬～4月下旬)約2700本

冬の貴婦人とも呼ばれ、キンポウゲ科の花ですがクリスマスの頃にバラのような花を咲かせることから、この名がつけられました。「記念の森散策路」や「香りの谷」で10品種のクリスマスローズがご覧いただけます。



スノードロップ

◇スノードロップ(開花:1月下旬～3月上旬)約600本

「雪のしずく」との別名があります。耐寒性が強く、厳寒期に白く可憐な花を咲かせます。「記念の森散策路」、「香りの谷」でお楽しみいただけます。



ウメ

◇ウメ(開花:2月下旬～3月中旬)約150本

バラ科サクラ属の落葉小高木。早春告げる花として、古来より日本人に愛されてきました。花弁が5枚ある1～3cmほどの花を咲かせ、花色には白を始め、濃淡のさまざまなピンクや赤があります。「西口エリア周辺」に25品種約150本のウメが植栽されています。



フクジュソウ

◇フクジュソウ(開花:2月上旬～3月下旬)約300芽

早春に黄金の花を咲かせることから、春を告げる花とも言われています。旧暦のお正月の頃に咲くため、おめでたい花とされ、『福寿草』と名づけられました。昨年11月、「記念の森散策路」に約300芽の植え付けを行いました。

◇早咲きスイセン“ラインベルト・アーリーセンセーション” (開花:2月下旬～3月中旬)約23,000本

純黄色の大型ラップスイセンで、早春のほかの品種がまだ芽をださないうちに開花する極早生種です。「スイセンの丘」の南西側斜面で、一面に咲き誇る姿をお楽しみいただけます。



ラインベルト・アーリーセンセーション



泉の広場フラワーガーデン 2012年1月8日撮影